

平成 27 年度

建設現場見学会感想文

- 徳島県立つるぎ高等学校 -



一般社団法人徳島県建設業協会

< 現場見学会感想文 >

つるぎ高等学校／平成27年11月9日

1. H26 営繕 辻高等学校三・井川

管理棟・校舎耐震改修工事

2. H27 三土 国道319号 三・山城大野 道路改良工事(1)

3. 平成25-28年度 西山トンネル工事

4. H27 馬土 八本松地すべり

美・穴吹穴吹 地すべり対策工事(1)

【土木コース】

○井上知之

今回の現場見学会は天気が雨の中で現場の人たちも危ないなか現場見学会を開催していただきありがとうございました。

まず、辻高校の耐震化工事の現場を見せていただきました。コンクリートの中に入っている鉄筋の様子を調べたり、鉄筋自体に傷があるか、欠陥がないか等を、超音波を出す機械を使って実践していただき、そして自分たちが見たこともないような機械を使わせていただきありがとうございました。

その次に、国道 319 号線の拡幅工事の現場を見せていただきました。既存の道は家に囲まれているので裏に新しく道を造っているところを見せてもらい次に山を切って余っていた砂で作った盛土の現場を見せてもらい、そのときに見せてもらったのり面や植生シートの話聞かせていただき、サビ代の話などは、自分は知らなかったもので、とてもためになりました。

そして、お昼になり昼食のお弁当はとても美味しかったです。ありがとうございました。

昼食をいただいた後は、猪ノ鼻道路にある西山トンネルの工事を見せていただきました。そこでは、トンネル工事の現場を見るのは、初めてで、その上発破による掘削の現場に立ち会うことができ、とても嬉しかったです。中に入るときに案内していただいた人も、トンネルに入るときに名札を裏返し、現場の安全に工事を進めようとする一人一人の意識に改めておどろき、自分もそのような意識を持ちたいと思いました。

最後の場所では自分たちのせいで遅れているのに、待っていただいてありがとうございました。

最後に今回 4 カ所もの現場を見せていただき、今後の就職等の参考にととてもなりました。本当にありがとうございました。

○大倉竜馬

今回現場見学会に参加させていただき、2 つのことにびっくりしました。

1 つ目は、山を上から順に崩していきそこから道路をつくることです。山を上から切つてよく崩れないと思いましたし、その土を下の工事しているところに運び、その土がまた崩れないように水はけを作っているのがすごいと思いました。また、補強土壁をつくってそこから土が漏れないようにして土が崩れ落ちないようにしているし、180 枚も使っているのにびっくりしました。抑制シートで芝をつけるのもすごいと思っていました。てっきり自然に生やすと思っていましたが、人工で生やしていることにビックリしました。

2 つ目は、トンネルを作る工事です。身近でいろいろな工事は見ますが、近くではトンネルの工事を見るのがなかなかないので、いい見学をしました。たくさんの大きな重機がトンネルの中を行き来して本当にすごいと思い、自分も早く一緒に仕事をしたいと思いました。また、その場で発破音を聞くことができるとてもうれしかったし、ワクワクしました。今回の本数も教えていただいたし、火薬も大体で教えてもらったので参考になりました。今回のトンネル工事は一番目に焼き付いています。

建設業協会のみなさん徳島県の方々、今回の現場見学会に参加していただきありがとうございました。僕は身近でトンネル工事しているところはなかなか見ることができなかつたし、この先自分のいい経験になったと思います。このことをきっかけに、ますます土木の仕事に興味が出てきました。今回はお世話になりました。

○大西拓磨

今回は僕たちのために現場見学会を開いてくれてありがとうございました。

最初に行ったのは、辻高校の耐震改修工事を見に行きました。超音波探傷について教えてくれました。超音波探傷では、コンクリートの中のどこに鉄筋が入っているかが分かったり、溶接部に穴が開いているとかがわかる機械とかを見せてくれました。

次は、山城町の国道の工事現場に行きました。そこでは道を広げる工事をしていました。雨が降っていたので足場が悪くなっていて歩きにくかったです。法面に草を生やしているところが綺麗だと思いました。

昼は弁当を用意してくれていて、美味しい弁当を食べました。

昼からは、トンネルを見に行きました。トンネルは中に入れてくれて、初めて入ったのでちょっと怖かったです。トンネルの中は水がぼたぼた落ちてきていました。トンネルから出るときに発破 5 分前という放送が入って怖かったです。外に出てトンネルの扉を閉めてカウントダウンが始まりました。発破は思ったよりすごかったです。

最後は穴吹まで戻ってバスを乗り換えて山に登って行きました。穴吹では地滑りのことについて教えてくれました。ふつうより軽い土でなおしていました。

建設業協会のみなさん、僕たちのために一日中現場の事について話をしてくれてありがとうございました。今回教わったことをしっかりこれからの就職の事とかに活かしていきたいです。ありがとうございました。

○大西永遠

今回の現場見学会は 4 カ所を回りました。

まず、最初に行った辻高等学校では、校舎棟管理棟耐震改修工事を見ました。そこで印象に残っているものは、超音波によってコンクリートの中にある鉄筋の状態を知ることができるのに驚きを隠せませんでした。普段学校で習っていることとは違った建築の分野を勉強することで、これからの僕の役に立つ予感をさせてくれるような体験でした。

次に行った場所は、一般国道 319 号にある大野拡幅工事です。この工事区間は狭い現道路沿いに公共施設や民家・商店などが連なっており、大型車などとのすれ違いも困難な状態であることから、安全で円滑な交通の確保を目的として平成 19 年度から 2 車線道路として整備を進めているそうです。具体的には、この場所で見学したのは急な斜面を支えているものです。石を積み上げてあいた隙間から水が流れ出るように設計されていました。

お昼を挟んで次に、1 番楽しかった猪ノ鼻道路のトンネル見学です。僕はここの近くの箸蔵の出身なのです。だからこの工事が始まった頃から知っています。小学生のときに「徳島から香川までまっすぐになるんだ。何年くらいかかるだろう。」と子どもながらに思ったものです。その見学ではダイナマイトを使っていたのが何よりも印象的でした。また機会があれば見に行きたいです。

最後の穴吹では、みんな疲れ果てていてあまり耳に入ってきませんでしたが、説明はしっかりと聞くことができました。どの現場でも共通していたのは、命の危険が常にあるということです。将来についてまだ悩んでいますが、建設業にも興味を持つことができました。

○小椋佑太

今回この現場見学会に参加して、僕はこの現場見学会を開いてくれた人々やそれぞれの現場で熱心に仕事について教えてくれた人々は、とても優しくみんないい人ばかりでとても勉強になりました。

まず初めに辻高校にお邪魔して辻高校の耐震改修工事の現場を見てきました。この現場ではまず、初めに見学会についての段取りや担当者紹介などを行ってくれました。この現場では、超音波探傷検査をやっているところなどを見学しました。

全部で4つの現場に行きましたが、僕が1番心に残っている現場は、一般国道32号線の猪鼻道路の現場でした。この現場では、徳島と香川を結ぶトンネルをつくる工事でこのトンネルを作ることで、移動時間が10分間も短くなると聞き、とてもびっくりしたし、とてもすごい工事なのだと思いました。これほどの工事なので、とても多くこの工事にお金が必要なのかなと思っていると、30億近くのお金が必要と聞いてとてもすごい工事だと思いました。トンネルの中に入れていただき、中を見学したときはすごいと思いました。発破を使いトンネルの奥を爆発させたときには外から見ていたのですが、音も大きく爆風もすごかったです。僕的にはこの現場が1番面白かったです。僕もこんな現場で就職して、このような現場で働きたいです。

建設業協会のみなさん、今回はこのような会を開いていただきありがとうございました。今回の経験をもとに自分の将来の就職のことを考え、みなさんのように明るく、優しく、雰囲気の良い会社に勤められるようにこれからは勉強をし、頑張っていきたいと思います。また機会があればその時はよろしく願います。今回は本当にありがとうございました。

○柴田流生

今回の現場見学会に参加して、さらに建設業の仕事に就きたいと思いました。

僕は1番印象に残っているのは、猪ノ鼻道路の現場です。トンネルの中は、とても息苦しかったです。でも作業員の方は、その中で作業していると思うとすごいと思いました。やっぱり建設業の仕事は、とてもやりがいのある仕事だと改めて思いました。この現場はとても危険が伴う現場だと思いました。トンネルの中は、引きつけコンクリートで周りを固めていました。ひきつけコンクリートは、役1~2時間で固まるコンクリートということも勉強できました。ひきつけコンクリートは、いろいろな薬を混ぜるということもこの現場で勉強できました。特にこの現場で印象に残っていることは、発破です。爆発音は、あのでかい扉を吹き飛ばす勢いでした。とても驚きました。

2番目に印象に残っているのは、一般国道319号の現場です。最初に説明してもらったのは法面のことです。法面は、下からやっていくと上の土砂が崩れたらいけないので、上から下へやっていくそうです。とても授業とは違うやり方なので印象に残りました。次は植生シートが印象に残りました。ふつうは何年もかかって植物ができるのに、植生シートを入れるだけで1年ぐらいで植物ができるそうです。

今回は将来役に立つ経験ができました。将来は建設業につきたいと思っています。県外か県内かで迷っていますが、僕は絶対に建設業につきたいと思っています。今回はとても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今回の経験に誇りをもって頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。

○瀬尾海人

今回現場見学会をさせていただいて、とてもいい見学会になったと思います。

最初に辻高校の現場を見に行きました。辻高校では校舎棟・管理棟耐震改修工事を行っていました。まず見学会の挨拶をしてくださり、次に現場概要説明をしてくださり、次に校舎棟・管理棟の現場担当者を紹介してくださり、工事内容をプロジェクターで説明した後で、校舎棟現場見学をさせていただきました。校舎の中を見せていただいて、耐震改修工事施工フローをしていました。機械などをさわらせてくださいました。

2か所目に一般国道319号に行きました。ここでは、道を作っていました。この道を作ることで時間短縮につながるといっていました。ここではカップをいただきとてもありがたかったです。

3か所目にはトンネルの工事に行きました。マスクをいただき、歩いて中に進み、トンネルの中を見学したり、発破をするところを見学させていただきたくさんの質問に答えていただきありがとうございました。とてもいい勉強になりました。

4か所目には地すべりをしているところに行きました。最後というのもあって疲れていましたがいろいろなことを説明していただきました。

今回このような機会を与えていただきありがとうございました。質問なども答えてくださり、とても勉強になりました。ありがとうございました。

○塚原咲弥

今回11月9日月曜日の朝から現場見学会へ行きました。天気は残念ながら雨でした。バスに乗って移動しました。

最初は、辻高等学校へ行きました。超音波の機械を見ました。よくわかりませんでしたが、すごいなと思いました。機械のあるところはとても暗くて、夕方くらいかと思いました。プロジェクターでの説明してくれて、すごいなと思いました。とてもお世話になりました。ありがとうございました。

次は三好市池田町にある道路工事に行きました。階段がいっぱいありました。植生シートを使って草を生やしているそうです。1年で草がいっぱい生えたそうです。すごいなと思いました。

次はお昼御飯です。お弁当とお茶を用意してくれていてありがたいなと思いました。

次は猪ノ鼻道路へ行きトンネルの見学させてもらいました。私は、トンネルが好きなので1番楽しかったです。爆発の瞬間も見えてすごかったです。

最後は、穴吹の山の地すべりを直しているところへ行きました。高すぎて高さがわからなく距離感がつかめませんでした。高かったです。

最後に見学させていただいた現場のみなさん、ありがとうございました。普通なら経験できないことをさせていただき感謝しています。一緒に来てくれた方もありがとうございました。運転手さんもありがとうございました。お世話になりました。ありがとうございました。

○夏田拓望

今回、現場見学会に参加してまず辻高等学校の耐震改修工事を見させていただきました。一番すごかったのが超音波です。金属に超音波を当てて、周波数が高いところがあれば傷があるといっていました。はじめて見たのですごく興味がでてきました。また見える時があればぜひもう一回見たいと思いました。次に山城の大野拡幅を見に行きました。人の手であそこまでできるので、すごいと思いました。道路を広げるのは難しいと思うのですが、人々のためになる仕事ならやりがいがある仕事だと思います。

次にトンネル工事がすごく印象に残っています。重機がすごく印象に残っています。重機がすごくでかくて結構驚きました。発破するときもまず安全性をしっかりと全員が避難をしてから発破します。すごい音がしてすごくびっくりしたけど、逆にわかってよかったです。それとどの仕事をするのにあたって、すごくお金がかかるので、仕事は失敗が許されないのだなと思いました。

最後に建設業協会のみなさん、徳島県の方、僕たちのために時間をさいていただきありがとうございました。はじめて見たものが多かったのですごく勉強になりました。次も見学に行けたらもう一回行って、次はもっといろいろなことを教わって、しっかりと勉強して自分をやりがいのある仕事ができたらいいと思います。本当にありがとうございました。

○山蔭将吾

今回4つの現場に行かせてもらいました。

最初は、辻高校の耐震改修他工事建築でした。超音波探傷の説明をしてくださいました。超音波で鉄筋の数や、どのくらいの長さなのかを測定できるそうでした。僕は、このような見えない力で見えないものを測定するのは初めて見たのでおどろきでした。

次は、一般国道319号の大野拡幅でした。今までは、道路のわきにある草は自然なものではなく、植生シートというものを使っていたのでそこまでしっかりとやっているのだなと思いました。この体験からさらに道路をきれいに使おうと思いました。

3番目は、猪ノ鼻道路のトンネルを見学させてもらいました。トンネルは、でかいシールドを使っているイメージでしたが、発破の力で掘削していくので、いろいろな工法があることがわかりました。そして、実際に発破するところを体験しました。予想以上に衝撃がありました。発破できるようになるには、国家資格がいるので頑張って資格を取りたいです。

最後に土石流による被害を軽減させる工事を見学させてもらいました。これは、地滑りをなくすためのものでした。しっかりとボーリング調査を行い地質の調査もしっかりと行っていたので、やっぱりプロだなと思いました。

今回は、このような機会を与えてくれた建設業協会と現場を見学させてくれた建設会社の皆さまありがとうございました。この体験で、学校の座学で学んでいたことを実際に行うことができたので良かったです。

今の進路は進学です。しかし、将来的には徳島県の会社に就職したいと思っています。そのために今からしっかりと勉強をし、資格を1つでも多く取り、会社に貢献できる人材になりたいです。

○横田瑞貴

今回現場見学会に参加してとてもいい経験になりました。まず一番はじめに辻高校で行われていた耐震化工事を見学しました。辻高校に着くとまず見学会の挨拶をし、次に現場概要説明を受けました。次に校舎棟、管理・校舎棟現場担当者紹介を受けました。そして、工事内容の説明をプロジェクターで見ました。その後校舎の中に入り現場を見学しました。そこでは超音波を使いコンクリートの中に鉄筋が何本入っているかなどを調べていました。

次に大野町の道路の工事現場を見学しました。工事の説明を受けた後実際に現場を見に行きました。バックホーなどの重機も置いてありました。

次に猪ノ鼻にあるトンネルの工事現場へ行きました。そこでもはじめに工事の内容について話を聞きました。その後ヘルメットと配られたマスクを付けてトンネルの中に入りました。まだ工事中のトンネルの中は石などが転がっており、歩きにくかったです。次にトンネルを発破するところを見せてくれました。発破する5分前にサイレンで避難を呼びかけその後トンネルの入口の防音扉を閉めました。防音扉をしていたのに、発破したときの音はとて大きくてびっくりしました。

最後に穴吹にある地滑り対策の工事現場へ行きました。地面に鉄筋が何本も刺さっていたり斜面に白いシートをしていたのが印象的でした。

今回私たちがこのような体験ができたのは建設業協会の人たちの協力があったからだと思います。今回体験したことを授業やこれからの就職活動に活かしたいと思います。本当にありがとうございました。

○吉岡蒼一郎

11月9日に建設業協会の皆さんの主催で、現場見学会に参加させていただきました。

最初に行った現場は、辻高校の耐震工事の現場です。最初に会社の方の説明を聞きその後で現場に行きました。そこでは、超音波でコンクリートの中の鉄骨がどこにあるか調べる機械やレーザーで同じ事をする機械がありました。なかなか見ることができない機械だったので、いい体験でした。

次に大野町の道路の増設工事の現場を見に行きました。個々では山を切り崩しその土を持って道を新しくしていました。この現場は土木コースで勉強したことがたくさん出てきて楽しかったです。また、今まで知らなかった工事の方法もとても丁寧に説明していただいてわかりやすかったです。また、今までに見たことのないバックホーが出てきて重機のオペレーターになってみたいと思っている僕には楽しかったです。

次にトンネル工事に行きました。トンネルの工事現場に入れることはそうそうないので楽しかったです。また発破の時の音も聞かせてくれました。振動がすごかったです。

次に穴吹の地すべりの対策工事の現場に行きました。現場を見る前はちっちゃい現場と思っていましたが、見たら予想以上に大きい現場でした。地すべりの現場は見たことなかったので新鮮でした。

建設業協会のみなさん今日は1日僕たちのためにありがとうございました。また1日楽しい時間をありがとうございました。また次回もよろしくお願ひします。

【建築コース】

○石谷紘覇

平成 27 年 11 月 9 日に僕は現場見学会に参加しました。現場見学会では 4 つの現場を見学に行きました。最初は辻高等学校の「校舎棟・管理棟耐震改修工事」を見学し、そこでは、超音波を使って構造物のどこに鉄筋が通っているか、傷があるかどうかを調べました。

次は、小雨降る中、山城の道路拡張工事を見学に行きました。その現場では道路を拡張するために山を切り崩したり、持ったりする現場を見せていただき、法面の事についてや、土を盛った場所に使う植生シートのことなど質問に対してわかりやすく教えていただきました。その現場ではカップをいただきありがとうございました。

次は猪ノ鼻道路の現場見学に行きました。猪ノ鼻の現場では、貴重なトンネル工事をしている最中で、発破の瞬間に立ち会わせていただき、本当にありがとうございました。あれほど大規模な現場を見るのは初めてで、初めて見る重機が入れ替わり立ち替わり動いているのを見て、改めてすごいと思いました。

最後に地滑り対策工事の現場見学に行きました。いつも台風などで地滑りが起きないのが不思議でした。しかし、この工事を見学したことによって土木技術で地滑りしないのがわかりました。僕は台風の時に安心していられるというのがわかりました。

このような現場見学会を開いてくれた建設業協会の方々や現場を見学させていただいた建設業者の皆様本当にありがとうございました。この現場見学会を通して重機や発破などを取り扱える資格を取りたいと思いました。建設業に就職したいと一層思いました。今後の建設業協会や、今回参加していただいた建設会社の皆様方、これからの発展をお祈り申し上げます。

○大藤拓人

僕は 11 月 9 日に辻高校、池田、道路など様々なものを見てきました。

辻高校では、耐震工事最中だったのでそれを見てきました。そこでは超音波や機械などを使っていました。鉄筋の凹凸などを調べていました。やはり現場の方々は作業が早くてすごく尊敬しました。周りの生徒の迷惑にならないように、休み時間を使ったり、休みの日を使ったりとすごく周りのことを考えているなと思いました。

そこから次は、池田のほうの道路工事を見学させていただきました。そこでは、山を削って埋め立てるということをしていました。雨が降っていて足元がぬかるんでいました。でもすごく立派な仕事なので自分も頑張りたいです。

次にトンネル工事を見ました。そこでは何億ものお金をかけて 2km ぐらいのトンネルを作っていました。そこでは 300m ぐらい入りました。発破というものを使って爆破している工程をしていました。僕もそれを体験できてとてもよかったなと思っています。みんなひとりひとりがやることを見つけて作業しているので、すごいなと思いました。

次の場所は穴吹の方に行きました。そこでは台風が起きて土砂が崩れていたところの修復作業をしていました。すごく下まで崩れていました。そこで作業している人はすごいなと思いました。

この体験をして、すごく貴重な体験をしたのでこの体験を通して将来のためにいかしたいです。

○笠井久未佳

11月9日現場見学会で辻高校の耐震・改修工事・三好町の国道拡幅工事・猪ノ鼻道路の西山トンネル工事・穴吹の地すべり対策工事の四つの現場を見学させていただきました。どの現場へ伺っても現場の職人さんたちが温かく迎えてくださいました。

その中でも私が特に興味が引かれた工事現場は、猪ノ鼻道路の西山トンネルの工事現場でのトンネルの発破に立ち会えたことです。まさに、この仕事をしていないと体験できないものなのだろうと思いました。それと同時に、発破することで岩が崩れてきて危険ではないのだろうかとも思いましたが、このような危険な作業に向き合ってくれる人たちがいることで、私たちの生活の中での交通の利便が良くなっているのだと思いました。一見地味な仕事だと思ってしまうかもしれませんが、このような仕事を進んでくれている人たちがいることを私たちは理解し感謝すべきだと思いました。西山トンネルの工事現場以外の辻高校の耐震工事も国道拡幅工事も、地滑り対策工事もすべて現場においてその工事が果たされることで、その地域の人たちの助けとなると思うと私も是非、人を助けるような建設の仕事がしたいという意欲が増してきました。

今回の現場見学会は私の中にある「建設」という仕事に対しての考え方や意識を大きく変え、人の役に立つことの大切さを改めて考えさせられました。また、今回のすべての現場見学会で体験、考えたことを大切にしながら将来どのような建設の仕事がしたいか参考にしたいと思います。

○酒本 樹

11月9日に現場見学会に参加しました。4か所の現場に行き、見学させていただきました。

まず最初に辻高校の現場へ行きました。辻高校では、校舎棟・管理棟の耐震工事が行われていました。ここでは、見たこともない超音波探傷という超音波で傷を調べるという珍しい作業を教えてくださいました。どこに傷があるのかメーターの変化をみて傷を探します。あれだけで傷がわかるなんてすごいと思いました。あと、鉄筋探査機を見せてもらいました。転がしただけで鉄筋の場所がわかるなんてハイテクだなあと思いました。このように辻高校では初めて見るものや知るものが多くとても楽しかったです。

2か所目は、一般国道319号大野拡幅を見学しに行きました。ここでは道の幅を広げる作業でした。そこにある階段の下に補強土壁工というものをしていました。壁には180枚のパネルがはられていました。値段がすごく高くてびっくりしました。地面には石みたいなのが敷き詰められているのがありました。これは水抜きのためにあるらしいです。近くで溶接もしていたのでかっこいいと思いました。

3つ目は、昼ご飯を挟んでからの現場でした。猪ノ鼻道路でのトンネルを見に行きました。トンネルの中で作業する様子はとても貴重な体験でした。本当に面白くて、自分もこんなことがしたいと思いました。発破を現実に間近で見ることができてすごくうれしかったです。とても印象的でした。

4つ目は穴吹でした。すごく広く高さもある本当に「土木!!!」ってかんじの現場で広い範囲だったので感動しました。

建設業協会のみなさんのおかげでいい経験ができました。

○敷島稜也

11月9日に現場見学会に行きました。初めに辻高校に行き、耐震工事現場の見学をしました。ここではレーザー探査機を使い、コンクリート内の鉄骨の場所を調べました。レーザー探査機は超音波で物体の中を調べ、それをレーダー式で表示するというものです。建築現場ではこんなものを使うのだなと思ったと同時に建築の仕事に対する一生懸命さを知ることができました。

2つ目は一般国道319号に行き、そこでは道路の拡幅工事をしていました。そこではカクマットという1.2m×2.7mブロックを壁に敷き詰めて行ったり植生シートというもので草を生やしやすくしたりしていました。僕は、道路のところの草は勝手に生えているだけだと思っていたのですが、道路を使って生やすということは初めて知りました。道路工事はただ使うだけではなく、見た目も造ってすごいいいと思いました。

3つめは西山トンネルに行きました。ここでは、トンネルの掘削をしました。掘削はダイナマイトを使って行われました。ダイナマイトの点火は安全にするために電気を使い、全員がトンネルから出た後に爆破されました。爆発の音は「ドーン」ではなく、地面や空気が振動するような感じだったので少し驚きました。

最後は地すべりの補修工事の現場に行きました。ここでは以前に台風で地すべりがおきていました。次大きな台風がきて、地滑りが起きてしまえば、たくさんの被害が出てしまうので、その補修工事をしています。災害を未然に防ぐということは、人々を守るということなので、僕もいつかはこのような仕事に就きたいと思いました。

今回いろいろな現場を見て、さらに建築などの仕事に興味がわきました。これを活かしてこれからも頑張っていきたいです。

○十川七海

今日は楽しみにしていた現場見学会でした。行ける現場は、数か所もあるようで、最初は辻高校の耐震改修工事の現場でした。耐震工事は、今回行ったどこの現場より身近なもので、楽そうなイメージが強かったのですが、実際見学してみると周囲への気配りや、壊す場所と壊さない場所の区別など、細心の注意が必要で、まったく楽ではないように見えました。ここでは、工事現場に入り、ハイテクな鉄筋探査機で、傷をレーダーで調べる体験をさせてもらいました。ここで挨拶をしたのですが、うまく言えずにすいませんでした。

次の現場は、山城にある道路の拡幅工事でした。山を削って道路が造れるようにし、その削った土を岸部分に盛るといった感じでした。雨が降ってもそのまま作業していたのですごいいいと思いました。

次の現場は、トンネルの中に入ることができました。人生最初で最後だと思われる工事中のトンネルの中では緊張感とワクワクでいっぱいでした。発破を見せてくれるということで、外に脱出していると、5分前などとカウントダウンのサイレンが鳴って、すごく焦りました。実際の発破の瞬間が見られてよかったです。

最後の現場は、私の家に近いながらも地すべりが起きているなんて全く知らなくて、とても怖いことだなと思いました。私たちが安心して暮らせるのは、建設業の方がいるからこそだと改めて思ったし、こんな人の為になるような仕事に就きたいと思いました。この現場見学会の前までは、建設科にいながら建設業はどんな職業があるのか全然知らなかったもので、とても良い機会になりました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

○平 龍賀

僕は11月9日月曜日に現場見学会に参加しました。

まず一つ目に向かったのが、辻高等学校の耐震工事をしているところを見に行きました。まずは、見学会のあいさつ、説明などをしてもらった後、校舎棟内の現場を見せてもらいました。超音波探傷検査をしていました。超音波で鉄筋の傷の場所や深さまでわかると聞いてそんなものがあるのだなとビックリしました。

2つ目に向かったのは、山城にある一般国道319号を作っているところに行きました。まずは、どのように工事をしているかを説明してくれました。それから移動して現場を見ていきました。補強土壁は180枚ぐらい使っていると聞きました。一枚5万～6万と聞いてすごくお金がかかっているんだなと思いました。

3つ目に向かった現場は、西山トンネルの工事を見に行きました。まず説明を受けた後、トンネル内へ入って行きました。トンネルはダイナマイトで掘っていると説明を受けていたので、すごいと思いました。ダイナマイトは1回で50kg使うと聞きました。実際にダイナマイトで掘っているのをトンネルの外で見ました。

4つ目に向かったのは、穴吹の近くの土石流で壊れたところをどのようにして直すかを考えながら工事をしていました。

今回の現場見学会はとてもいい経験をしたと思います。とてもいい思い出になりました。

○月岡友輝

11月9日に現場見学会がありました。バスに乗り、まず最初に辻高校の耐震改修工事を見に行きました。ここは、インターンシップで来たところでした。まず、現場についてあいさつをして工事の内容を説明してもらいました。説明の中であった鉄骨枠付きKブレースをクレーンで上げる工事は、前回のインターンシップで見ました。説明が終わって現場に移動して超音波を使って鉄骨の間の傷を探したりコンクリートの中の鉄筋を探す作業をしました。見たこともない機械だったのでとても新鮮で面白く見えました。見学が終わってお礼のあいさつをし、次の現場へと移動しました。

次に道路の幅を広げる工事を見に行きました。山を切って道を作るときに山は上から切るなど、ためになる話を聞きました。下に移動してパネルの説明をしてくれました。パネルは1枚5万～6万円するのを180枚も使っているのにはびっくりしました。

次の現場は西山トンネルの工事を見に行きました。完成前のトンネルを見ることができるようはないかもしれないので、とても興奮しました。説明を聞きトンネルの中に入りました。車で通っているトンネルがこんな感じでできているのかと思うと、とても面白く見ることができました。トンネルを出ると発破までの時間があと少しでした。発破までカウントをし、爆発すると「ドドドン」と少し揺れてとてもすごかったです。これはとても良い体験となりました。

次の土砂崩れで壊れた道路を直している工事を見ました。土木はこういった作業もあるのだなと思いました。

今日はとても自分にとって貴重な1日となりました。

○橋本和樹

11月9日に建設科で現場見学にいきました。クラスの1人が欠席して、全員での参加はできませんでした。現場には全部で4か所も行きました。

まず初めに、辻高等学校に行きました。そこで、たくさんの資料をもらいました。少し現場概要説明などを受け、すごく勉強になるような話をしてくれました。校舎を見学して、いろいろな機械があり使い方の説明も聞き、すごいと思いました。

次に山城町大野の一般国道319号に行きました。ここは階段がすごく多くて、とてもつかれました。雨も降っていて天候も悪く、すごく足場が悪かったです。

12時が過ぎ、池田小学校の前で、弁当を食べました。すごくおいしかったです。

3番目に猪ノ鼻道路に行きました。すごそうなマスクをつけて、トンネルに入りました。とても息がしにくくて、せこかったです。ダイナマイトの爆発も見ることができてとてもよかったです。

最後に穴吹の地すべり対策工事を見に行きました。正直もう疲れていて何も覚えていませんが貴重な体験ができてよかったです。

この現場見学会に参加して、少しでも自分のためになるようにしたいと思いました。

○峰 真晴

11月9日に建設業協会が主催の現場見学会に参加しました。まず、最初に辻高校で行われている工事の見学をしました。超音波を利用してコンクリートの中にある鉄筋の長さや位置を正確に測る機械を見せてもらいました。

次に行った現場では、一般国道319号を作る作業をしていました。その時の現場での話で、国道1m作るのに200万~300万円くらいかかるといわれてすごく驚きました。全体で何円かかるのかじゃなく1mで何円なのかという計算の仕方だったのでわかりづかったです。川の近くの岩をコンクリートにせずに岩のままにしている理由が、水はけが良くなるからということだと聞いたときは、なるほどと思いました。水はけが良くなるかわりに蛇などの危険な生き物が寄ってくるらしいです。

次に行った現場はトンネルの発掘現場です。トンネルの発掘現場は、ほかの現場と比べてすごい山の中にあいました。トンネルを掘るときには、すぐ強度が出るコンクリートを使用するといっていました。発掘途中のトンネルの中は、すごく粉塵がまっていました。予想していたより中に車や重機がたくさんあって驚きました。トンネルの中にいるとき発破というダイナマイトを使って爆発させる作業を見せてくれました。すごく大きい音がして驚きました。

次の現場は、また道路だったけど、最初と全然作業内容が違いました。

○安友哲平

この間現場見学会をした時に感じたことがあります。それは、一つだけではなくいくつかあります。まずは、配慮がすごく行き届いていて、とても快適でした。これはやはり北岡組のすごさを実感しました。現場見学の方では、最初に辻高校の耐震工事を見学しました。工事の大まかな説明を受けた後に、超音波による探査を実習しました。僕は、超音波で傷を調べるといった発想がなかったので、この日初めて見て、驚愕しました。本当にわかるのかと気になっていると、実際に動かしてみることになりました。すると本当に傷に反応したので驚きました。また、超音波で建物の中に入っている鉄筋の位置を調べることもできると聞いて、超音波の可能性は広いなと思いました。

次に、道路の工事現場を見学しました。そこで初めて草の植生シートをしりました。約1年かかるそうで、意外と時間がかかることがわかりました。

それから、一番印象に残ったことは、やはりトンネルの発破作業です。はじめて見た光景に驚きを隠せずに思わず「おお～」と声のでてしまいました。もし機会があるならもう一度、今度は中にいたまま爆発を見たいと思いました。そして、爆破前と爆破後の様子を実際に見てみたいと思いました。今回の現場見学はとてもためになりました。ありがとうございました。